

杉谷ひろば

杉谷さんとともにまちを創る会・会報

第2号

発行

2011年 2月 6日



(市役所～東向日駅の間の通りに面してます)

1月8日、会の事務所を開設しました 名前は「杉谷ひろば」

お気軽にお立ち寄りください

(みんなで手作りの一品を持ち寄りました)



杉谷さんとともにまちを創る会

向日市寺戸町辰巳4-1 中嶋荘1-101 TEL/FAX 932-1325

ホームページもご覧ください

<http://sugi.pupu.jp/>

1月の報告

厳寒の中、事務所を開設！

新年早々の1月8日、杉谷さんとともにまちを創る会の事務所をオープンしました。「市民参加で住みよいまちにしていく」活動のセンターとして、会員のみならず広く市民の皆さんにも活用してもらえたらと思っています。

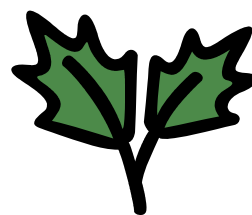
この事務所は、前はジーンズショップだったところで、そのため入口の扉は無く、上下水配管も室内にありませんでした。会のメンバーや家族の協力で、年末の厳寒の中を、上下水配管

をし、扉を作って取り付け、室内の壁塗りをするなど、新年の事務所開きに間に合わせようと準備したのです。準備に関わったみなさん、ご苦労様でした。

計5回のビデオ上映会を開催

事務所開きでの記念上映をはじめ、まちづくりに関するビデオなど計5回のビデオ上映会を行いました。

その他、個人加盟の労働組合・なかまユニオンの方が事務所を使って「労働生活相談」を行いました。



2月の予定

2/12 まちづくり例会

今月2月12日の例会では、自治体の福祉をめぐる問題を取り上げます。福祉に対する国や自治体の義務をなくしていこうというのが今の政府の政策です。その現実について福祉の現場から報告をしてもらい、向日市ではどうなっているかを考えます。

そのほか、今月はいろいろと楽しい催しをやっていこうと思います。

2/13～15 沖縄物産展 & バリアフリー写真展

2月13日（日）からは、事務所で沖縄物産展をおこないます。沖縄のお菓子や沖縄そばなど、取りそろえますので、覗きにきてください。

この沖縄物産展は、派遣切りされた若者たちが、自分たちで仕事作りをしていこうと運営している「フェアコープ」という協同組合の協力で行います。同時に、昨年私たちが取り組んだ「まちのバリアフリー探検隊」の写真も展示する予定です。これはサティ前～阪急「東向日」駅～JR「向日町」駅の間の歩道を、車椅子に乗って移動し、障害者やお年寄りの立場で歩道の現状を体感したものです。とても車椅子で通れない危険な所だらけであることに、改めて驚きました。ぜひご覧ください。

2/19にはエイサー教室

2月19日（土）には、「エイサー体験教室」をします。エイサーは、沖縄の伝統的な太鼓踊りですが、その勇壮な姿に若者や子どもたちに人気があります。これは、5月に向日市民会館ホールで公演を予定している「月桃の花」歌舞団の協力で行ってまいります。ただ場所は、太鼓をたたきますので、事務所では無理なため競輪場玄関南隣の「向日町会館」でおこないます。

2月下旬には、別の写真展も計画していますので、お楽しみに！

杉谷ひろば2月の催し

2/13日～15火
13時～17時

沖縄物産展

※2/13・日曜日は午前10時から
※2/13日は沖縄そばの試食もします

★沖縄のお菓子を各種取りそろえ

- ・ちんすこう
- ・黒糖菓子各種
- ・紅いもかりんとう
- ・亀の甲せんべい
- ・ミミガージャーキー



★そのほか、

- ・沖縄そば
- ・タコライス
- ・海ぶどう
- ・島ラー油、など

★無添加・こだわりの桶谷石鹸製品も

桶谷石鹸は天然素材のみを使用した純石鹸で、合成界面活性剤を使用していないため、肌に優しい上に排水しても約1日で成分分解しますから、環境にも配慮できる製品です。日本には10人程度しかいない熟練した職人の手による純石鹸です。

本企画は、雇い止めや派遣切りを受けた当事者が協働で雇用創出に取り組んで運営している協働組合「フェアコープ」の協力で、その取扱商品を展示販売するものです。

2/12
(土)

市民参加のまちづくり例会 「福祉の公的保障解体を考える」

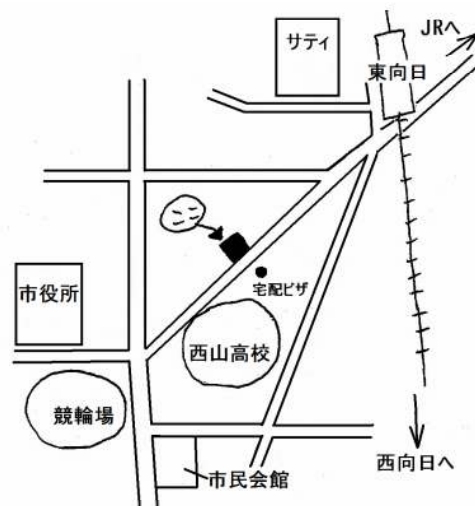
報告：福祉の第一線で働く奥森祥陽さん

10時～12時 (資料代100円)



「財源難」を理由に医療・介護・保育や生活保護など福祉への国や自治体の責任を無くしていく動きが進んでいます。そのしわ寄せをものに受けているのが、拡大する低所得者層。福祉の第一線から現在の国や自治体の動向を報告して頂き、向日市ではどうなっているのか考えます。(例会後市役所までバリアフリー探検)

「杉谷ひろば」の案内



毎週水曜 15時～19時

(無料相談)

労働生活相談

(秘密は厳守します!)

主催：ひとりでも加入できる労働組合・なかまユニオン

有料の催し

2/19(土) 14時～16時

レイバーCAFE

派遣切りと闘う吉岡力さんの話を聞いて・話して・みんなのしゃべり場。参加費500円(非正規・学生200円、無職は無料)

2/27(日) 14時～16時

ビデオ上映会

『手をつなぐ人々～アメリカ・イラクの闘いをひとつに』
(前売800円, 当日1,000円)
主催：イラク平和TV局inJAPAN

こんにちは、 杉谷です

この2カ月ほどの間に、向日市のまちの将来に大きな影響を与える動きがありました。

昨年11月末、京都府の検討委員会は向日



町競輪場の廃止を提言することを決めました。事実上、向日町競輪場の廃止が決まったと報じられました。そして今年1月29日には、JR桂川駅前のキリンビール跡地に、イオンが大型商業施設の進出をすることを決め、近く契約することが報じられました。

「競輪場の跡はどうなるんやろね?」「イオンが来たら、向日市の客はみんなむこうに行きまわへんやろか?」市民の関心や心配の声もいろいろ出ています。でも私たち市民は、口出しできない傍観者でいるしかないのでしょうか?

向日町競輪場もキリンビール跡地も確かに向日市ものではありません。競輪場は京都府の所有であり、キリンビール跡地は民間企業のものであります。しかし、私たちのまちのこれからに大きな影響があることについては、当然私たち市民の意見を考慮せずに進められることがあってはなりません。

向日町競輪場の廃止問題 市民参加で跡地利用計画づくりを!

向日町競輪場については京都府の施設なので、その存廃について京都府で検討委員会

が設置され審議してきました。廃止の方向が打ち出された今、ではその跡地をどう活用するのかは、京都府だけで決めてもらっては困ります。地元向日市民の意見が尊重されるべきです。京都府に対し、向日市が跡地利用の地元要望案を率先して提出していかなければだめです。また、行政内部だけの検討では困ります。すみやかに市民参加で検討委員会を立ち上げ、市民の知恵を活かし、市民のまちづくりの要望に沿った、向日市としての跡地利用案の作成に着手することを求めます。

また、競輪場で働いている人たちの仕事・雇用と生活の問題も放置できません。自治体が経営に関わり、数百億円という莫大な収益をこれまで競輪事業から受けてきたのですから、儲からなくなったらポイ!というやり方は許されません。

向日市の小ささを生かす 市民参加のまちづくりを

キリンビールの跡地開発は、向日市全体に大きな影響を与えるでしょう。「京都市と長岡京市の間で向日市が沈没していく」不安をもっている市民は多いでしょう。しかしその対策は、桂川駅や長岡京駅に負けない駅前開発をすることではないだろうと思います。

私は、向日市の小ささを利点として、誰もが住みやすいまちづくりを真の市民参加で進める中に、向日市の未来の方向があると思っています。

まちの大切なことは、企画検討段階から市民に情報をすべて公開し、市民参加を進めていく。こうした真の市民参加を実現していきたいと思っています。

そのため、私は行政にも議会にも、市民への透明な情報公開を求めるとともに、私が知りえた情報は広く市民に伝え、一緒に考えていきたい。また市民の皆さんから伺った意見や提案・苦情を議会や行政に伝えていきたいと思っています。